

第39回全国高等学校体操競技選抜大会参加資格者一覧表（男子）

令和4年12月16日 現在

1班（午前に競技）					
No.	選手名	学年	都道府県	学校名	解説
1	古家 楽陽	2	京都	洛南	※No.1～No.8は、No.51～60に続く8名。 手順② 1・2年生を上位（No51）から並べ、下位に3年生を並び替える。
2	北本 爽真	1	大阪	清風	
3	吉田 優生	1	栃木	作新学院	
4	川口 碧雪	2	大阪	大体大浪商	
5	柏木 寅瑠	2	栃木	作新学院	
6	武井 柚輝	2	埼玉	埼玉栄	
7	木村 柊二	1	山形	庄内総合	
8	奥田 拓哉	1	愛媛	新田	
9	橋本 大輔	2	北海道	札幌学院大学附属	※ブロック枠Aはブロック1位の都道府県 手順④
10	飯高 孝規	1	福島	東日大昌平	
11	野邊地 陽希	2	千葉	市立船橋	
12	福田 猛斗	2	福井	鯖江	
13	藤木 大智	2	愛知	名城大学附属	
14	福田 司	2	大阪	清風	
15	山寺 健太	1	岡山	関西	
16	高久保 光貴	2	愛媛	新田	※ブロック枠B（普及枠）は参加できる都道府県を増やすよう配慮
18	中林 凌牙	2	北海道	帯広大谷	
19	岩間 大樹	2	青森	青森山田	
20	井草 青空	2	群馬	県立高崎工業	
21	齋藤 俊	1	新潟	加茂	
22	浅野 力	2	岐阜	県立大垣商業	
23	武村 有真	2	兵庫	尼崎市立尼崎	※各ブロックの判断により、1枠を種目別出場に替えることも可能 手順⑤
24	本宮 颯人	1	広島	崇徳	
25	吉良 学人	1	香川	高松北	
26	山崎 海音	1	鹿児島	出水商業	
27	坂本 朋也	2	山梨県	日本大学明誠	※1 高校総体1位の県のブロック 手順⑥
28	平本 琉	2	神奈川	湘南工科大附	※2 手順⑦ 協会推薦
29	伊藤 成良	1	岩手	盛岡南	
30	前田 竜輝	2	三重	暁	開催都道府県

2班（午後に競技）					
No.	選手名	学年	都道府県	学校名	解説
31	角皆 友晴	1	千葉	市立船橋	※No.31～No.42は、全国高校総体個人総合成績1・2年生上位12名 手順①
32	寺島 優雅	1	福井	鯖江	
33	神山 遥人	2	宮城	仙台大明成	
34	中村 隆太郎	2	岡山	関西	
35	脇原 和志	2	岡山	関西	
36	鈴木 一太	2	宮城	仙台大明成	
37	藤崎 飛向	2	大阪	清風	
38	今村 健太郎	2	東京	日体大荏原	
39	表 幸澄	2	京都	洛南	
40	大野 暖人	2	愛知	名城大学附属	
41	石川 翔生良	2	埼玉	埼玉栄	
42	西村 尚純	2	三重	暁	
43	金田 晟斗	2	千葉	市立船橋	※No.43～No.50は、全国高校総体チーム選手権上位8チームの都道府県 手順③
44	馬場 崇士	1	栃木	作新学院	
45	梶原 立暉	1	宮城	仙台大明成	
46	山本 道明	2	京都	洛南	
47	福林 玄輝	1	大阪	清風	
48	細田 遼	2	福井	鯖江	
49	綾田 奏人	2	岡山	関西	
50	浅岡 光	1	山形	庄内総合	
51	大島 凱	2	栃木	作新学院	※No.51～No.60は、全国高校総体個人の1・2年生上位12名を除く、10名。但し、1・2年生は本人、3年生は都道府県 手順② 1・2年生を上位（No51）から並べ、下位に3年生を並び替える。
52	齋藤 駿介	2	千葉	市立船橋	
53	長渡 士門	2	大阪	清風	
54	岡田 榮心	2	千葉	市立船橋	
55	成澤 一翔	2	京都	洛南	
56	新倉 優翔	2	宮城	仙台大明成	
57	阿部 来煌	1	山形	庄内総合	
58	片山 空秋	1	栃木	作新学院	
59	飯島 健正	2	千葉	市立船橋	
60	浅原 康生	2	東京	日体大荏原	

※1 参加できる都道府県を増やすように配慮すること。

※2 日本体操協会推薦選手としてNo.28～No.29.に2名の出場権を与え、2班で抽選する。

但し、推薦選手がない場合には全国総体チーム成績2位、3位の県のブロックに各1枠を配分し、1班で抽選する。

このブロック枠も参加できる都道府県を増やすように配慮すること。

協会推薦があった場合、順次、資格No.28・29とNo.59・60と交替して、協会推薦選手を2班で抽選する。

第39回全国高等学校体操競技選抜大会参加資格者一覧表（女子）

令和4年12月16日 現在

1班（午前に競技）					
No.	選手名	学年	都道府県	学校名	解説
1	深澤 さくら	2	山梨	甲斐清和全日制	※No.1～No.8は、No.51～60に 続く8名。 手順② 1・2年生を上位（No51） から並べ、下位に3年生を並 び替える。
2	榊原 望香	2	東京	都立駒場	
3	本田 沙禾	1	福井	鯖江	
4	湯川 璃多	2	神奈川	星槎国際横浜	
5	荒川 暖奈	2	栃木	作新学院	
6	高寺 心渚	1	京都	京都府立南丹	
7	椿 さくら子	1	岐阜	多治見西	
8	藤井 裕菜	2	神奈川	白鵬女子	
9	寺井 詩月	2	北海道	北海道札幌白石	※ブロック枠Aはブロック 1位の都道府県 手順④
10	松田 里奈	2	青森	弘前学院聖愛	
11	荻野 咲羽	1	神奈川	白鵬女子	
12	加田 咲良	2	福井	鯖江	
13	新田 美琴	1	愛知	名古屋経済大学市町	
14	土井 こはる	2	大阪	四天王寺	
15	虫明 音芽	2	岡山	就実	
16	松下 実菜理	1	香川	高松中央	
17	齊藤ゆなか	1	佐賀	鳥栖	
18	小沼 有季	2	北海道	旭川大学附属	※ブロック枠B（普及枠） は参加できる都道府県を増や すよう配慮 ※各ブロックの判断によ り、1枠を種目別出場に替 えることも可能 手順⑤
19	阿保 凧咲	2	宮城	仙台大明成	
20	松澤 月星	1	群馬	県立吉井	
21	川上 寧采	1	新潟	長岡大手	
22	磯部 花歩	1	静岡	城南静岡	
23	前田 杏乃	1	奈良	奈良大学附属	
24	神藤 璃名	2	広島	修道大学ひろしま協創	
25	齋藤 菜々美	1	愛媛	宇和島東	
26	池邊 和花	1	大分	大分西	
27	奥田 珠世	1	富山	富山	※1 高校総体1位の県のブロック 手順⑥
28	岡田 陽菜	1	三重	暁	※2 手順⑦
29	高橋 美羽	1	埼玉	クラーク記念国際	協会推薦
30	岡田 紗耶	1	三重	暁	開催都道府県

2班（午後に競技）					
No.	選手名	学年	都道府県	学校名	解説
31	楠元 妃真	1	福井	鯖江	※No.31～No.42は、全国高校 総体個人総合成績1・2年生上 位12名 手順①
32	岡村 真	2	三重	暁	
33	山本 七海	2	福井	鯖江	
34	西田 采永	1	千葉	昭和学院	
35	鈴木 望未	1	三重	暁	
36	伊藤 麻衣	1	愛知	名古屋経済大学市町	
37	田代 葵	2	神奈川	星槎国際湘南	
38	榊井 美咲	1	福井	鯖江	
39	高木 玲	2	東京	大智学園	
40	松永 亜里紗	1	東京	大智学園	
41	矢田部 希望	2	山梨	甲斐清和通信制	
42	中島 楓琳	2	愛知	名古屋経済大学市町	
43	木崎 乃音	2	福井	鯖江	※No.43～No.50は、全国高校 総体チーム選手権上位8チー ムの都道府県 手順③
44	水野 朱華	1	愛知	至学館	
45	井上 雅	1	東京	駒澤大学	
46	岡田 亜実	1	三重	暁	
47	岩田 七海	2	神奈川	白鵬女子	
48	川端 凜	2	大阪	相愛	
49	井口 佳玲	2	佐賀	鳥栖	
50	松浦 さくら	1	栃木	宇都宮短大附属	
51	村部 美優	2	滋賀	滋賀県立栗東	※No.51～No.60は、全国高校 総体個人の1・2年生上位12名 を除く、10名。但し、1・2年 生は本人、3年生は都道府県 手順② 1・2年生を上位（No51） から並べ、下位に3年生を並 び替える。
52	岩佐 和	1	福井	鯖江	
53	平田 千紜	1	大阪	四天王寺	
54	齊藤 彩海	1	大阪	四天王寺	
55	遠山 結香	2	福井	鯖江	
56	土橋 ピピ	1	愛知	東海学園	
57	若山 京香	2	千葉	クラーク記念国際	
58	今村 志穂	1	佐賀	鳥栖	
59	阿部 花音	1	愛知	半田	
60	古賀 愛梨	1	愛知	名古屋経済大学市町	

※1 参加できる都道府県を増やすように配慮すること。

※2 日本体操協会推薦選手としてNo.28～No.29.に2名の出場権を与え、2班で抽選する。

但し、推薦選手がいない場合には全国総体チーム成績2位、3位の県のブロックに各1枠を配分し、1班で抽選する。

このブロック枠も参加できる都道府県を増やすように配慮すること。

協会推薦があった場合、順次、資格No.28・29とNo.59・60と交替して、協会推薦選手を2班で抽選する。

※3 全ての手順を経て、No.30以外の上場枠が確定された後に開催都道府県枠を決定

第38回全国高等学校新体操選抜大会参加資格者一覧表

男子個人競技

No.	シード	選手名	学年	都道府県	学校名	解説
1	S1	安達 大翔	1	岩手	盛岡市立	※No.1～No.6は、全国高校総体成績上位の個人6名の所属する都道府県より選抜する。但し、個人競技上位6位の中に1・2年生が入っている場合は、その個人選手に出場権を与える。
2	S1	相澤 隼人	2	神奈川	光明学園相模原	
3	S1	田中 千紗仁	2	岐阜	済美	
4	S1	東 鳳雅	1	鹿児島	鹿児島実業	
5	S1	谷口 央弥	2	京都	丹後緑風	
6	S1	井上 正也	2	岡山	井原	
7		神山 貴臣	2	青森	青森山田	※No.7～No.12は、全国高校総体成績上位の個人6名のブロックに配分し、当該年度ブロック高校大会の成績により、前項の個人6名を除いた順位の都道府県より選抜する。(都道府県では複数の参加もありえる)
8		村山 涼	2	東京	国士舘	
9		長瀬 鈴	1	岐阜	済美	
10		木下 直生	2	熊本	芦北	
11		柳田 拓海	1	大阪	清風	
12		荒槇 建太	2	広島	広陵	
13		川原 爽空	1	北海道	北海道恵庭南	※No.13～No.21は、全国9ブロックに1名を与える。但し、該当がない場合は、全国高校総体7位以降の都道府県より選抜する。但し、1・2年生が入っている場合は、その個人選手に出場権を与える。
14		譽士太 陽向	2	青森	青森山田	
15		濱口 龍統	2	千葉	袖ヶ浦	
16		丸山 和孝	2	長野	松商学園	
17		山田 拳伸	2	岐阜	済美	
18		笹原 實	1	京都	京都市立紫野	
19		増岡 志音	1	広島	広陵	
20		高山 蓮音	1	香川	坂出工業	
21		阿部 かん介	1	佐賀	神埼清明	
22		飯塚 眞士	2	静岡	島田工業	

女子個人競技

令和4年12月16日 現在

No.	シード	選手名	学年	都道府県	学校名	解説
1	S1	喜田 未来乃	2	香川	高松中央	※No.1～No.6は、全国高校総体成績上位の個人6名の所属する都道府県より選抜する。但し、個人競技上位6位の中に1・2年生が入っている場合は、その個人選手に出場権を与える。
2	S1	増本 菜花	2	兵庫	兵庫大学附属須磨ノ浦	
3	S1	海保 結愛	1	千葉	明聖	
4	S1	鶴田 芽生	1	愛知	名古屋女子大学	
5	S1	赤羽 陽菜子	2	長野	飯田女子	
6	S1	坂本 あゆみ	1	東京	都立狛江	
7	S2	白川 愛侑子	2	香川	高瀬	※No.7～No.12は、全国高校総体成績上位の個人6名のブロックに配分し、当該年度ブロック高校大会の成績により、前項の個人6名を除いた順位の都道府県より選抜する。(都道府県では複数の参加もありえる)
8	S2	常住 加留奈	1	兵庫	日ノ本学園	
9	S2	太田 詩月	2	千葉	昭和学院	
10	S2	筋野 麗美	2	岐阜	済美	
11	S2	山田 瑛羽	2	長野	飯田女子	
12	S2	工藤 真妃	1	神奈川	横浜隼人	
13		森下 璃子	1	北海道	北星学園女子中学高等学校	※No.13～No.21は、全国9ブロックに1名を与える。
14		鈴木 実希	2	秋田	秋田北	
15		花見 結衣	2	神奈川	白鵬女子	
16		峰廣 さくら	1	長野	伊那西	
17		小澤 知夏	2	愛知	名古屋女子大学	
18		池内 梨名	2	兵庫	日ノ本学園	
19		坪井 友香	2	岡山	岡山南	
20		上岡 沙妃	1	愛媛	済美	
21		小鮒 由菜	1	佐賀	佐賀女子	
22		鎌田 栗実	1	香川	観音寺総合	
23		平野 花純	2	群馬	高崎健康福祉大学高崎	
24		嶋村 美耀	1	静岡	星陵	No.24は、開催地より選抜する

注1 日本体操協会推薦選手としてNo.22～No.23に2名の出場枠を設ける。但し、当該選手がいない場合には総体成績7位、8位の所属する都道府県に出場権を与える。1・2年生の場合は、その個人選手に出場権を与える。

第38回全国高等学校新体操選抜大会参加資格者一覧表

男子団体競技

No.	シード	学 校 名	都 道 府 県	備 考	解 説
1	S	青森山田	青森		※No.1～No.6は、全国高校総体成績上位の6チームの所属する都道府県より選抜する。
2	S	神埼清明	佐賀		
3	S	鹿児島実業	鹿児島		
4	S	北海道恵庭南	北海道		
5	S	盛岡市立	岩手		
6	S	光明学園相模原	神奈川		
7		宮城県名取	宮城		※注1
8		小林秀峰	宮崎		
9		芦北	熊本		
10		北海道札幌東陵	北海道		※No. 10～No. 18は、全国9ブロックに1チームを与える。但し、該当がない場合は、全国高校総体7位以降に与える。
11		宮城県白石	宮城		
12		埼玉栄	埼玉		
13		科学技術	福井		
14		島田工業	静岡		
15		清風	大阪		
16		広陵	広島		
17		坂出工業	香川		
18		福岡舞鶴	福岡		
19		稲取	静岡		No.19は、開催地より選抜する

※注1 No.7～No.9は、全国高校総体成績上位の3チームの所属するブロックに配分し、当該年度ブロック高校大会の成績により、前項の団体6チームを除いた順位の都道府県より選抜する。(都道府県では複数の参加もありえる)

女子団体競技

令和4年12月16日 現在

No.	シード	学 校 名	都 道 府 県	備 考	解 説
1	S	昭和学院	千葉		※No.1～No.8は、全国高校総体成績上位の8チームの所属する都道府県より選抜する。
2	S	伊那西	長野		
3	S	日女体大附属二階堂	東京		
4	S	奈良文化	奈良		
5	S	中京	岐阜		
6	S	佐賀女子	佐賀		
7	S	中村学園	福岡		
8	S	日ノ本学園	兵庫		
9		駒場学園	東京		No.9～No.13は、全国高校総体成績上位の5チームの所属するブロックに配分し、当該年度ブロック高校大会の成績により、前項の団体8チームを除いた順位の都道府県より選抜する。(都道府県では複数の参加もありえる)
10		丸岡	福井		
11		東金	千葉		
12		兵庫大学附属須磨ノ浦	兵庫		
13		名古屋女子大学	愛知		
14		北海高等学校	北海道		※No. 14～No. 22は、全国9ブロックに1チームを与える。
15		秋田北	秋田		
16		森村学園	神奈川		
17		東京学館新潟	新潟		
18		常葉大学附属常葉	静岡		
19		金蘭会	大阪		
20		岡山南	岡山		
21		富岡西	徳島		
22		鹿児島純心	鹿児島		
23		静岡城北	静岡		